にのみや気候市民会議(第4回)実施結果

日 時:令和6年 | 0月20日(日) 午後 | 時30分から午後4時30分

場 所:生涯学習センターラディアン ミーティングルーム 2

参加者:26名

・町 民 20名

・町職員 6名

講 師:室田憲一氏(東海大学 教養学部 人間環境学科教授)

傍聴者:5名

I. 概要

第4回にのみや気候市民会議は、東海大学教養学部人間環境学科の教授であり、二宮町環境審議会の会長である室田憲一氏をファシリテーターにお迎えし、「自然環境」、「エネルギー」、「移動」、「消費と廃棄」の4つのグループに分かれ、市民提案の取りまとめに向けた議論(話し合い)を行いました。

それぞれのグループでは、どんな暮らしがしたいのかを念頭に各分野が目指す テーマや目標、目標を達成するための手法について話し合いを行いました。

Ⅱ、当日の流れ

1. 事務局説明

事務局より、第3回及び第3.5回の振り返りと第4回にのみや気候市民会議の流れについて説明を行いました。

※詳細は「事務局スライド(P2~P10)」を参照

2. 議論(話し合い)

議論(話し合い)①

「自然環境」、「エネルギー」、「移動」、「消費と廃棄」の4グループに 分かれて「テーマと目標の設定」を行いました。



~ テーマと目標の設定 ~



10

議論(話し合い)②

「自然環境」、「エネルギー」、「移動」、「消費と廃棄」の4グループに 分かれて「提案の具体化」を行いました。

議論(話し合い)②

~ 提案の具体化 ~



- 1.1

議論(話し合い)①・②に関する発表

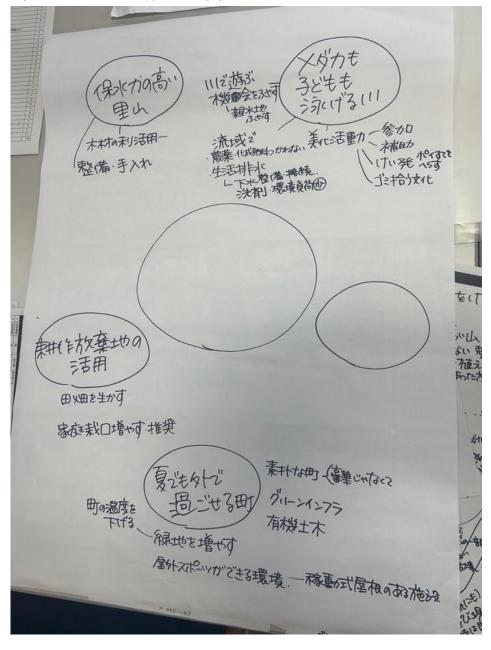
各グループの発表者より、グループ内で現時点までに話し合った内容について、発表を行い、全体で共有しました。

※「テーマや目標の設定」、「提案の具体化」については、第5回でも継続して 行います。

【自然環境】

〈発表内容〉

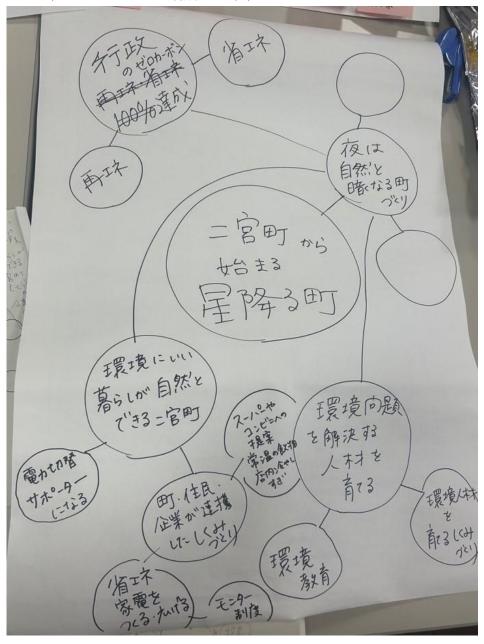
山、川、海、市街地、農地の5つのエリアを意識して話し合いを進めた。 その中で、「それぞれの繋がりの大切さ」や「生物多様性」についての意見 が多く出ていた。



【エネルギー】

〈発表内容〉

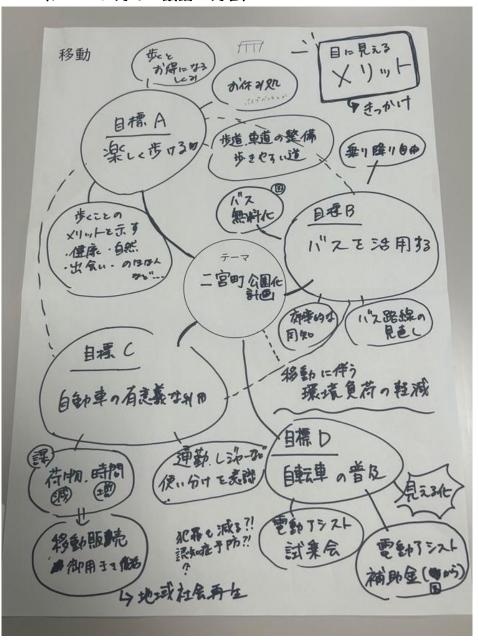
再エネ、省エネ、消費、生産という4つ項目ごとに出ている意見を分類し どのような意見が多く、参加者の関心があるのかを考え、そこからテーマや 目標の設定を行った。テーマは「二宮町から始まる星降る町」とし、具体的 な課題や取り組みを次回深掘りしたい。



【移動】

〈発表内容〉

最初は色んな方向に議論が進んでいたが、最終的には「歩く」という最も 身近なものに話しが集約した。二宮町を公園と捉え、歩きたいと思える町づ くりやインフラ整備について話した。



【消費と廃棄】

〈発表内容〉

ごみの減量に関する意見が多かったことから、「ごみをゼロにする」という目標を掲げた。そのための具体策や課題など多くの意見が出ていた。

また、消費と廃棄を考える上では循環が大切になるので、廃棄をなくすための循環の仕組みについても多くの意見が出ていた。



3. 講評

室田憲一氏より、「議論(話し合い)①」、「議論(話し合い)②」で話し合われた内容等について、講評をいただいた。

どのグループもとても活発な議論を行っており驚いた。それに加え、みなさんが楽しんで議論を行っていることがとてもよいと感じた。町民の方々が実践していくもののため、堅苦しく考えすぎず、次回も楽しむ気持ちを忘れずに取り組んでほしい。

4. 次回開催に向けた連絡事項

次回は、II月24日の日曜日の開催となります。場所は、この部屋(生涯学習センターラディアンのミーティングルーム2)です。

最終回となる次回の市民会議では、本日の続きを行うとともに市民提案の実現 に向けた仕組みづくりについて話し合いを行い、市民提案を完成させます。